

古文ドリル：「む」の用法識別 100問

対象：高校生・大学受験生（共通テスト～難関私大・国公立二次まで） **著作権：**個別指導塾フィット / 中本裕太

はじめに：「む」の正体（6用法）

古文の助動詞「む」は **1語で6つの意味** を持ちます。識別問題では「どの意味か」を答えるパターンが多い。

用法	訳	判別ポイント	例
① 推量	～だろう	3人称が主語	雨降ら む
② 意志	～よう・～たい	1人称が主語	我れ行か む
③ 勧誘	～したらどうか	2人称が主語	君行か む や
④ 適當	～のがよい	2人称＋助言	早く帰ら む
⑤ 婉曲	～のような	体言の前	思は む こと
⑥ 仮定	もし～ならば	「～むには／～む人」など条件節	行か む には

識別の鉄則

1. **主語の人称** を見る
2. 1人称 → 意志
3. 2人称 → 勧誘 or 適當
4. 3人称 → 推量
5. **下接語・文脈** を見る
6. 体言の前 → 婉曲（「～のような～」）
7. 「～むには／～むほど／～むには」 → 仮定
8. 「～む」が文末で疑問 → 推量
9. 「～む」が文末で意志を述べる → 意志
10. **接続** は必ず **未然形**
11. 文末の「む」連体形（「ぞ・なむ・や・か」結び）でも意味は同じ

🎯 解き方のコツ（時短テクニック）

「識別の鉄則」は文法的に正しい順序。

こちらは **試験本番で3秒で答えを出す** ための実戦テクニックです。

コツ① まず「直後」を見ろ（婉曲・仮定を一発で切れる）

- ・「む」＋ **体言** → **婉曲**（～のような）即答 例：思は**む**こと／あら**む**人
- ・「む」＋ **に／には／ほど／ば** → **仮定**（もし～なら）例：行か**む**には／思は**む**ほど

→ 直後が体言か接続助詞なら、人称を見るまでもなく確定。

コツ② 直後が文末／引用なら 人称 で3分割

直後が句点・「と」（引用）・「や／か」など文末系なら、主語の人称で決める。 - **1人称（我・吾・予・おのれ）** → **意志**（～よう） - **2人称（君・なんぢ・あなた）** → **勧誘・適当**（～してはどう／～のがよい） - **3人称・無生物（人・雨・花）** → **推量**（～だろう）

→ 主語省略が多いので、**動作主が誰か** を本文で探すのが鉄則。

コツ③ 2人称の勧誘か適当かは語気で判断

- ・「**や**」「**か**」など疑問の終助詞付き → **勧誘**（～しないか）
- ・助言・推奨の文脈 → **適当**（～のがよい）

例：君行か**む**や → **勧誘** ／ 早く帰ら**む** → **適当**

コツ④ 「死なむ／往なむ」はナ変＋む

「死なむ」「往なむ」だけは特殊。直前がナ変動詞「死ぬ／往ぬ」の未然形「な」＋「む」。助動詞「ぬ」未然＋「む」とほぼ同じ意味（～してしまうだろう）。

試験本番でのチェック順序

1. 直後が **体言** → **婉曲**（即答）
2. 直後が **に／には／ほど／ば** → **仮定**
3. 主語が **1人称** → **意志**
4. 主語が **2人称** → **勧誘** or **適当**
5. 主語が **3人称・無生物** → **推量**

→ この順番で **3秒** で答えが出ます。

よくある引っかけ

- ・主語省略が多い → 動作主を文脈で補う（敬語の有無もヒント）
- ・「**らむ**」（現在推量）と混同 → 「**ら**」がなければ「**む**」で確定

- ・ 「**けむ**」(過去推量)と混同 → 「**け**」がなければ「む」で確定
- ・ 連体形「む」も意味は同じ(「ぞ・なむ・や・か」結びでも人称で決まる)

採点表

- ・ 基礎 (Q1~Q20) : /20
- ・ 標準 (Q21~Q50) : /30
- ・ 応用 (Q51~Q80) : /30
- ・ 入試レベル (Q81~Q100) : /20
- ・ 合計 : /100

【第1部】基礎編 (Q1~Q20)

6用法をそれぞれ識別する基本問題。

Q1. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

雨降ら**む**。

Q2. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

我れ行か**む**。

Q3. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

君行か**む**や。

Q4. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

思は**む**こと。

Q5. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

行かむには、馬を用意すべし。

Q6. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

風吹かむ。

Q7. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

我れ寝む。

Q8. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

早く帰らむ。

Q9. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

春来む頃。

Q10. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

君行かむほどに、文書きてやらむ。

Q11. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

月出でむ。

Q12. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

我れ知らむ。

Q13. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

行かむ所。

Q14. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

君や知らむ。

Q15. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

我れ書かむと思ふ。

Q16. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

笛吹かむ人なし。

Q17. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

行かむには、しるべ要らむ。

Q18. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

父帰らむ。

Q19. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

我れ問はむ。

Q20. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

君も食はむや。

基礎編 / 20

【第2部】 標準編 (Q21～Q50)

文脈・係り結び・引用構文を含む応用問題。

Q21. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

言はむことを、まづ聞け。

Q22. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

我れ歌詠まむと決めぬ。

Q23. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

春雨や降らむ。

Q24. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

いざ参らむ。

Q25. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

行かむ人、馬を用意せよ。

Q26. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

鳥鳴かむ山に、いざ行かむ。

Q27. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

我れ知らむやと、人間ふ。

Q28. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

夕月夜出でむ頃、参るべし。

Q29. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

父知り給はむ。

Q30. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

我れ寝（ね）む。

Q31. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

君行かむかは。

Q32. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

我れも往なむ。

Q33. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

月隠れむ夜。

Q34. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

行かむほどに、待ちぬべし。

Q35. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

我れ言はむことを聞け。

Q36. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

君行かむやと、皆問へり。

Q37. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

風吹かむ音、いと寂し。

Q38. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

我れ住まむ所、いまだ定めず。

Q39. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

春来むやと、人ごとに問ふ。

Q40. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

行かむには、誰か供をすべき。

Q41. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

我れ食はむ。

Q42. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

雨止まむ。

Q43. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

君も食はむかし。

Q44. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

我れ書かむものを、人に見せじ。

Q45. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

いざ給へ、参らむ。

Q46. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

思はむほどの心地ぞする。

Q47. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

笛吹かむこと、難し。

Q48. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

君や問はむ。

Q49. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

我れ往なむと、思ひ立つ。

Q50. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

心知らむ人。

標準編 / 30

【第3部】応用編（Q51～Q80）

敬語・係り結び・引用が複雑に絡む応用問題。

Q51. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

中宮、御文書かむと仰せらる。

Q52. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

我れ参らむ。されど、いまだ準備整はず。

Q53. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

春や来む、と心に待つ。

Q54. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

君行かむやと、母心配す。

Q55. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

いみじき宿世の人にあらむ。

Q56. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

我れ仕うまつらむと申す。

Q57. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

笛の音絶えむ夜。

Q58. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

御覧ぜさせたまはむ。

Q59. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

嘆かむこと、目に見ゆ。

Q60. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

早く立ち去らむ。

Q61. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

知らむ人。

Q62. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

山深く分け入らむ。

Q63. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

物思ふ我れも、いま忘れなむ。

Q64. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

雨いやまさらむ。

Q65. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

君もろともに参らむやは。

Q66. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

唐土に渡らむ人、希にあらむ。

Q67. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

老いむ身、いかでか若く保たむ。

Q68. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

いま歸らむかし。

Q69. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

思はむこと言はむ。

Q70. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

心知らむ人にこそ、見すべけれ。

Q71. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

我れもまた仏に祈らむ。

Q72. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

君行かむ所、いづくぞ。

Q73. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

嘆かむやは。

Q74. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

鳥鳴かむ朝、目覚めなむ。

Q75. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

行かむには、馬要らむ。

Q76. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

君わが心知らむやは。

Q77. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

仏に祈らむ人。

Q78. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

いざ参らむやは。

Q79. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

鳥や鳴かむ、と耳を澄ます。

Q80. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

我れ寝なむ。

応用編 / 30

【第4部】入試レベル (Q81~Q100)

Q81. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

唐土に渡らむ人、すくなからむ。

Q82. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

月見む人、いざ夜更けにあり給へ。

Q83. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

我れ、なほ生かさむと思ふ。

Q84. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

春の野に咲かむ花、いまだ知らず。

Q85. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

いみじき宿世の人にしあらむ。

Q86. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

父の御志、いかでか忘れ**む**。

Q87. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

物のあはれを知ら**む**人にこそ。

Q88. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

風吹か**む**夕、なほものあはれなる。

Q89. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

君や生か**む**、我れや死な**む**。

Q90. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

春の野に若菜摘ま**む**人、いまだ来ず。

Q91. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

いざ参ら**む**かし。

Q92. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

我れ、いま死な**む**ものを、と嘆く。

Q93. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

我れ生か**む**やは、人皆生かして。

Q94. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

心知ら**む**人にこそ、語らはめ。

Q95. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

思は**む**人。

Q96. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

我れ笛吹か**む**、と聞かす人ぞよき。

Q97. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

月清けき夜、いざ歌詠ま**む**やは。

Q98. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

春の山にいざ分け入ら**む**。

Q99. 次の傍線部「む」の用法を答えよ。

思は**む**こと、君に語らはむ。

あとがき

「む」の用法識別の核心： - **主語の人称** が最重要（1=意志、2=勧誘・適当、3=推量） - **下接語** で婉曲・仮定を見抜く（体言の前=婉曲、～むには=仮定） - **係り結び** で連体形「む」が文末に来る場合あり（意味は同じ）

「む」「むず」「けむ」「らむ」は古文の推量系の代表選手。違いを整理： - む：未来推量「～だろう」 - むず：意志的・確定推量 - けむ：過去推量「～ただろう」 - らむ：現在推量「（今ごろ）～ているだろう」

本ドリル100問で「む」のすべての用法に触れています。

著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太
